
「房室ブロックを伴う心不全に対して両心室ペーシング療法を行った、またペースメーカーを留置し、その後両心室ペーシング療法でアップグレードした症例を合わせたグループとそれ以外の両心室ペーシング症例のグループを臨床成績の比較と生存予測ファクター」

このたび、当院で診察を行った患者さんのカルテ情報を用いた以下の研究を実施いたします。本研究は倫理審査委員会の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、残余検体やカルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2012年1月1日から2021年12月31日の期間に埼玉医科大学国際医療センターを受診し、両心ペースメーカー療法を実施した患者さんを対象としております。

2. 研究の目的

両心室ペースメーカー治療（CRT）は、心臓の動きが不規則な動きがある心不全に対する重要な治療法です。心不全を有する房室ブロックを発症した患者さん（Block HF）に対して初めからCRTを実施したことの有効性が認められました。また、もともと一般的なペースメーカー植え込みを受けた方に対してCRTが有効になる方（CRT up grade）が増えています。しかし、その治療成績を比べること、また治療成績がよくなった原因は現在もはっきりしていません。そこで今回の研究においては、これらのBlock HFである方およびCRT up gradeした方といままで心臓の動きが不規則な動きがある心不全に対するCRT（De Novo CRT）との治療成績を比べたこと、また成績が良かった原因を研究することを目的とします。今後の研究を行うことで良心ペースメーカー療法の治療成績が良くなることが考えられます。

3. 研究期間

病院長の許可後～2025年3月31日

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学国際医療センターにおいて、個人情報管理者である成田 昌隆が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、

患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

両心ペースメーカー療法を受けた患者さんの検査を実施した際に生じた検査データおよび診療記録等を用います。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

研究責任者

心臓内科（役職）准教授 池田 礼史

4. 試料・情報の管理責任者

本研究の当施設における個人情報管理者

心臓内科（役職）助教 成田 昌隆

お問い合わせについて

ご自身の検体やカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学国際医療センター 心臓内科 成田 昌隆

住所：〒350-1298 埼玉県日高市山根 1397-1

電話：042-984-4523（土日祝日を除く 8：30～17：30）

○研究課題名：房室ブロックを伴う心不全に対して両心室ペーシング療法を行った、またペースメーカーを留置し、その後両心室ペーシング療法でアップグレードした症例を合わせたグループとそれ以外の両心室ペーシング症例のグループを臨床成績の比較と生存予測ファクター

○研究責任（代表）者：埼玉医科大学国際医療センター 心臓内科 准教授 池田 礼史